

「第2回御嵩町リニア発生土置き場に関するフォーラム」議事録

1. 開催日時

令和4年8月11日（木）14:00～17:35

2. 開催場所

御嵩町中公民館（大ホール）

3. 出席者

有識者	笹尾英嗣、玉木一郎、千頭聡
JR 東海	加藤覚所長、荒井潤担当課長、赤上広生副長、川崎貴之、牧野祥太
御嵩町議会	高山由行議長
御嵩町役場	渡邊公夫町長、各務元規総務部長、田中克典企画調整担当参事、山田敏寛企画課長
ファシリテーター	水谷香織（パブリック・ハーツ株式会社）
司会	豊田崇文（株式会社興栄コンサルタント）

4. 内容

- ・第1回フォーラムでの質問に対する回答
- ・第3回以降のテーマ選定
- ・自然環境の保全、生活環境への影響について

5. 参加者の数

56人

6. フォーラムの概要

開会

司会	皆様こんにちは。本日は、御嵩町リニア発生土置き場に関するフォーラムにご参加いただき、ありがとうございます。本日司会を務めさせていただき、株式会社興栄コンサルタントの豊田と申します。よろしくお願いたします。 それでは、開会にあたり、渡邊町長からご挨拶させていただきます。
渡邊町長	どうもこんにちは。お暑い中、第2回フォーラムにご参加いただきありがとうございます。コロナがこれ以上あるのかというほどにピークを迎えているような中、皆さんに集まっていた。危機感を持ちつつ、ご参加いただいているという風に思っています。昨日が41人ということで、御嵩町は県の1%を私自身は目安にしているのですが、それを大きく超えたということで、何もできないのが悔しいという思いであります。また自分に近いところでコロナ感染者が出ていますので、そういう意味でも、もう本当に人ごとではないのだということで、日々最大限の注意をしながら頑張っているところであります。 先般のフォーラムでは私に質問が集中しましたが、せっかく専門家がおみえになるの

	<p>で、専門的な見知からアドバイス、ご意見をいただくのも大切なことです。先生方をはじめ皆さんの貴重な時間を使いつつ、議論をしようとする場でもありますので、この 2 時間が有意義な時間になるようにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしまして、私の挨拶とさせていただきます。</p>
司会	<p>渡邊町長、ありがとうございました。</p> <p>このフォーラムは、事業者である JR 東海が、発生土置き場計画について御嵩町と町民の皆様に説明し、有識者の先生から専門的な助言をいただきながら、発生土置き場の安全性の確認と安全性を高めるための対策を話し合うものです。本日も出席いただいている有識者の先生をご紹介させていただきます。</p> <p>原子力研究開発機構東濃地科学センターの笹尾英嗣先生、岐阜県立森林文化アカデミーの玉木一郎先生、日本福祉大学の千頭聡先生、本日は、3 名の先生にご出席いただいております。</p> <p>なお、ファシリテーターの日比幸人先生は、新型コロナウイルスの濃厚接触者となったため、急きょご欠席となりました。本日のファシリテーターはパブリック・ハーツの水谷香織さんと私、豊田の 2 人が務めさせていただきます。水谷香織さんは、名鉄広見線 100 周年プロジェクトの映画製作にも関わられていたので、ご存じの方もいらっしゃるかと思います。</p> <p>水谷香織さん、よろしくお願ひいたします。</p>
ファシリテーター	<p>よろしくお願ひいたします。</p>
司会	<p>このフォーラムを建設的な話し合いの場とするため、あらためてフォーラムにおける「話し合いの約束」をお伝えさせていただきます。会場左右にも掲載させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人を傷つける発言をしない。 ・多くの方の声を聞くために、短く話す。演説をしない。 ・発言を最後まで聞く。 <p>以上 3 点をフォーラム参加の約束として、お守りいただきたいと思います。</p>

次第 1：第 1 回フォーラムの振り返り、第 1 回フォーラムでの質問に対する回答

司会	<p>それでは、御嵩町から「第 1 回フォーラムの振り返り」、「第 1 回フォーラムでの質問に対する回答」を行っていただきます。</p>
御嵩町役場 田中参事 山田課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
司会	<p>ありがとうございました。続いて JR 東海から「第 1 回フォーラムでの質問に対する回答」をお願ひいたします。</p>
JR 東海 荒井課長	<p>(資料に基づき説明)</p>
司会	<p>ありがとうございました。なお、第 2 回フォーラム開催に当たり募集させていただきました事前質問については御嵩町と JR 東海で共有しております。本日のテーマである「自然環境の保全」、「生活環境への影響」に関するものは、このあと JR 東海が質問内容を反映させたものを説明させていただきます。</p> <p>第 3 回以降のテーマに該当するものは今後の JR 東海の説明に反映していくようお願ひしております。</p> <p>それ以外の事前質問に関しては、この場で御嵩町と JR 東海から回答させていただきます。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>それでは第 2 回フォーラムに係る本町への事前質問に対する回答について説明させていただきます。本町に対しては皆様の方から 3 点ご質問いただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 点目 <p>第 1 回フォーラムでの要対策土の持ち出しに関する私の発言と JR 東海の発言につい</p>

	<p>て事実確認をしたいとのことで、「要望があった。これは御嵩町からあったということの良いのか」というご質問をいただいております。</p> <p>町は第 1 回フォーラムの経緯でご説明しましたが、平成 25 年と平成 27 年の計 2 回、建設発生土が活用できる土との認識の上、それぞれ町有地、今回でいきますと候補地 B のことですが、また隣接民有地、今回でいきますと候補地 A、こちらを発生土の活用候補地として情報提供をしたことがございます。JR 東海の言う要望があったところとは、このことだと理解しております、町から JR 東海に対し、町有地（候補地 B）に要対策土を入れる要望はしておりません。</p> <p>続いて、「町と JR 東海の理解が全く違うがどちらが正しいのか」といったご質問をいただきました。</p> <p>こちらにつきましては町と JR 東海の理解は一致しているとの認識でございます。JR 東海からは、海洋埋め立てへの搬出については受け入れ条件に合致するところがないため、現時点では候補地がないと聞いております。また、処理施設への搬出につきましては相当量の要対策土が発生するため、仮に持ち出すとした場合にはダンプの通行量が著しくなること、それに伴うダンプの台数や運転手の確保、また広大な仮置き場を新たに設置しそれを長期に管理することになること、また処理につきましては専門業者の処理能力や他の事業からの受け入れ状況によるところであり、計画的に行かない可能性もあることなどを聞いております。</p>
参加者	すみません。一方的に話されても分からない、画面に写せないのか。
御嵩町役場 田中参事	<p>事前質問については、口頭で答えさせていただきます。</p> <p>いただきました質問につきましては、私が第 1 回の方で、「持ち出すところがない、それで安全性が確認された上で受け入れるしかないと判断した」と、説明をしたということに対して、また、JR 東海から「持ち出すところがないから御嵩町に置きたいとは言っていない、環境負荷を考えると御嵩町の置き場が一番良い。そして、要望があったところがあり、条件も合致したためこういった話をしております」と、言ったことにつきまして、「この両者の間で共通の理解が全く違うのではないか」ということにつきましてご質問を頂いたところです。</p> <p>そちらにつきましては、まず一点目の質問の上で、要望があったというところについては「町から要望したのか」というご質問がありました。その要望というのは発生土置き場の活用ということで 2 回応募したことであって、本町が要対策土の受入場所として要望したということとはございません、ということをご回答させていただきました。</p> <p>続きまして、「町と JR 東海の理解が違うのではないか」というところですが、これにつきましては、町と JR 東海 の理解は一致していると考えております。町は JR 東海から海洋埋め立ての搬出につきましては、現時点で候補地がないと聞いております。また、処理施設への搬出につきましても相当量の要対策土が発生するため、それを仮に持ち出そうとした場合には、先ほどの説明もありましたが、ダンプの通行量、それに伴いダンプの台数や運転手が必要になってくること、また広大な仮置き場を新たに設置し、それを長期に管理することになること、また処理については専門業者の処理能力や他の事業からの受け入れ状況によるところであるため、今回のものが計画的に行かない可能性もあるということ聞いております。</p> <p>したがって、町としましては現実的に持ち出すことが困難という判断をする中で、環境負荷の関係から「坑口に近い町有地でお願いしたい」という JR 東海の提案について、町内で現実に要対策土が発生する以上、安全性を確認した上で受け入れるしかないのではないかとこの考え方を第 1 回フォーラムでは発言しております。</p> <p>こちらにつきましては町と JR 東海で食い違いがあるのではないかとこのことですが、JR 東海にも意図を確認いただければよいが、同じ理解だと思っております。</p> <p>・ 2 点目 ご質問いただきました 2 点目としまして、「JR 東海の提案に御嵩町が協力すること、または、協力しないことに対する町と町民に対する影響がどのようになるのか」</p>

	<p>というご質問を頂きました。</p> <p>本町は他の自治体とともにリニア事業の早期開通を要望しておりましたが、そのリニア事業の早期開通に影響することが十分考えられます。</p> <p>ただ、この影響につきましては、町だけの想定で決まるものではなくて相手のあることですので、この場でこういった影響が起きるのかということをご正確にお伝えするというのは困難です。</p> <p>・3点目 最後の3点目、有識者に対する日当や交通費の支払いについてご質問をいただきました。</p> <p>こちらにつきましては、それぞれ当初予算に必要な額を計上しておりますが、個別の支払いについては今回のフォーラムの目的に沿ったものでないこと、個人情報に関することであるため、この場でお答えすることを差し控えたいと思います。</p>
<p>JR 東海 荒井課長</p>	<p>今回のフォーラムについて事前質問がたくさんあったのですが、項目ごとにまとめてお話をさせていただきます。</p> <p>・1つ目 「ダンプの台数を独自に試算していたが、環境負荷はそれほど大きくないのではないか」、「ダンプの走行に比べ、置き場の不安のほうが大きいのではないか」とのご意見を頂いています。</p> <p>ダンプの台数は先ほど試算結果を示させていただきました。当社としては、ヤード近傍に安全性を確保した上で置き場を設けることで工事車両の通行による周辺道路への影響を低減したいという考えです。要対策土の封じ込めに関わるご不安、ご懸念については承知しておりますが、次回のフォーラム以降で、盛土の安全性や要対策土の管理方法についてしっかり説明して参りたいと思いますのでよろしくお願い致します。</p> <p>・2つ目 「岐阜県が公表している建設発生土の活用候補地は数多くあるのではないかと」のご意見を頂いております。</p> <p>発生土置き場の候補地につきましては様々頂きましたが、当社において地形や規模、周辺の環境への配慮、運搬距離、行政の手続きの有無などを考慮して候補地を絞り込みながら関係者との協議を進めております。</p> <p>・3つ目 「ヤードに近いからという理由だけで候補地に指定するのは置き場の選定手順としてはどうか」というご意見を頂いております。また、「海洋埋め立てに活用できないのか」、「専門業者に運搬できないのか」とのご意見を頂いております。</p> <p>基本的な考えは先ほど当社からご説明させていただいたとおりで、前回のフォーラムでも町から経緯などを説明していただいたため、ご意見として承ります。</p> <p>・4つ目 7/29の新聞記事で、多治見市では要対策土を処分しない方針で、当面、可児市の専門業者へ運ぶことについて、「JR 東海は多治見市が要対策土を受け入れない事を了承したのか」とのご質問を頂いております。</p> <p>これにつきましては、当社では多治見市内で要対策土が出た場合においても自社用地内の封じ込めにより対応することを基本として協議をしています。一方で掘削準備が整ったために当面は専門業者への持ち込みにより対応することを計画しています。</p> <p>・5つ目 「JR 東海が自ら埋め立て工事をする場合、発生土の引き取り料や埋め立て料といった金銭の支払いはないのか」とご質問を頂いております。</p>

	<p>置き場 B についての話だと思いますが、用地を取得するにあたっては適正な鑑定をした上で、土地代はお支払いいたします。土地代の他ですが引き取り料ですとか埋め立て料といった金銭をお支払いすることはございません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6つ目 「置き場候補地 A に町有地が含まれるのか」、「候補地 B は全て町有地なのか」とご意見を頂いています。 こちらにつきましては、候補地 A は民有地が主体ですが、一部町有地も含まれます。B につきましては、全て町有地となります。 ・ 7つ目 「自然環境に関する事柄で動植物の調査の時期やその方法」についてご意見を頂きました。また、「水質、大気質、粉塵が心配」という声を頂いております。 調査方法や時期、大気質、粉塵については、この後説明する生活環境や自然環境の中で補足しながら進めさせていただきたいと思います。水質につきましては、次回以降のフォーラムで説明させていただきます。 ・ 8つ目 「要対策土の一時保管場所」に関するご意見を頂いておりますが、これも後ほど資料に入れておりますので、補足を加えながら説明させていただきます。 ・ 9つ目 最後に田中参事から先ほどありました、「JR 東海と御嵩町の意見が食い違っているのではないか」ということにつきましては、JR 東海としましては、まず町から要対策土を入れてほしいというご要望については受けていません。発生土の活用候補地としてご要望を頂いたものです。また、当社はヤード近傍で置き場を整備するのが良いと考えていますが、その上で候補となる他の持ち出し先はないということは御嵩町にも伝えております。ヤード近傍で安全性を確保した置き場を整備することは現実的であるという理解につきましては御嵩町と一致しております。
司会	先ほどからご質問されたいという方がいらっしゃるようですので、ご質問をお願いします。マイクを使って、ご質問をお願いします。
ファシリテーター	マイクは感染症対策などのために私が持っておりますので、ご安心ください。
参加者	<p>御嵩町への質問 1 から 4 は、私が質問をしました。</p> <p>まず、意見が違うのではないかとということですが、（第 1 回フォーラムの）議事録を読んでもらうと、田中参事は持ち出すところがないとおっしゃったのです。ところが、JR 東海は持ち出すところがないから置きたいとは言っていない。環境負荷を考えると、ここが良いと言っている。つまり、御嵩町が持ち出すところがないという理解をされているようなので、その点が違うのではないですかと言いたかったのですね。持ち出すところがないから受け入れるというのは、町長の受け入れる 8 つの理由にも入っていた大きな理由です。JR 東海は、要対策土を受け入れるところがないわけじゃないって明確に言っておられるわけです。町長は、「持ち出せるところがあるなら、そっちへやってくださいと言う」と言われています。これから先も方法があるならそれを言い続けてくださいねっていうお願いをしておきます。認識がやっぱり違うと思います。</p> <p>2つ目、ボランティアだとおっしゃったので、念のために日当が予算的には出るはずなのでゼロというわけではないでしょ、という確認をしたかっただけです。確か先生、この前ゼロっておっしゃいましたよね、でも予算計上されていますよね、だからその確認をしたかった。先生達がゼロと認識されていたら、払ってないのかとちょっと疑問に思ったので質問しました。</p>

	<p>それから、メリットの話ですけど、メリットって聞くと非常に難しい話になるので、ちょっと問いかけを変えたつもりですけど、この JR 東海の提案に御嵩町が協力すると、町や町民にどんな良いことがあるのか、逆に断って、ちょっと困ると、やめてくれといった場合にどんな悪いことが町および町民に降りかかるのですか、ということが分かると皆さんも判断しやすいじゃないですか、そういう視点で答えてほしいという要望です。</p> <p>それから、トラックの台数の件、さっき出ましたけど、だいたい 500 台ぐらいですけど、半分半分ですから片道 250 台、帰り道 250 台ですよ。JR 東海の平成 26 年か 27 年の環境調査で、あそこの交通量を測っておられます。1 日 1 万台通るのですよ。1 日 1 万台通る中で、500 台、5%の台数が増えるのはすごい環境負荷でしょうか。もともと 1 万台走っている中で、500 台増えるわけだから、前の方ばかり説明して、すごく説明がいいとこ取りしすぎるから、ちょっと腹が立って、そういうことを書きました。たった 5%で、且つ、工事中の 3 年間だけです。盛土すると住民の皆さんにとって、一生の負荷になる、一生不安ですよ。どう考えても盛土のほうが、環境負荷が大きいですよ。だれが考えてもそうだと思う、ということです。</p>
ファシリテーター	<p>これまでのご発言はコメントでよろしいですか。</p>
参加者	<p>同じ回答しかされないと思うので。皆さん、JR 東海に伝えておきたいということです。</p> <p>それから、JR 東海の方で回答されたものですけど、多治見市の話が出ましたよね。新聞読むと多治見市は受け入れないと言っている、明確に言っている。協議も何もないのではないかと思います。終わっているということですよね。明らかに、もう協議は終わったので、要対策土を業者さんに持っていったという新聞の書き方をしてあると思うんですけど、新聞なんでね、事実かどうかこれは確認したかったということです。</p> <p>あとですね、埋め立てとか業者の能力と言っているが、言葉だけなのです。例えば、明海は何 m³埋められて、残り何 m³埋められます、とかね、そういう説明しないと。ありませんとか、分からないよね。それから、もう一つは処理業者の話も出た。確かに許可を受けた業者は岐阜県には一つしかないが、愛知県には処理業者は 8 つあるのですよ。それらに聞けば処理能力の問題ではない。ちゃんと全部にいろんな処理能力とか持って行く時期とか聞いた上でやっておられるのですか。よく調べてほしいということを言いたかった。</p>
司会	<p>御嵩町様、よろしく申し上げます。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>ご質問につきまして、補足いたします。先ほど持ち出すところがないと言ったことが違うのではないかとこの点についてです。</p> <p>こちらのほうとして、海洋埋め立てについては、御嵩町のものを持ち出すことはない、それはできないと JR 東海からはっきりと伝えられています。その他、運搬など、現実的に要対策土であっても受け入れられる方法が確保できたという説明は受けていません。また、処理能力の関係から計画どおりにいくことができない可能性があるという話も聞いていたことから、持ち出すことはできないと発言したものです。</p>
参加者	<p>聞いただけでは分からない。</p>
司会	<p>このフォーラムで、初めて皆様からの意見を聞いて、町として要望できることもある。JR 東海から、それらに対する説明を聞ける機会はあるかと存じます。</p>
参加者	<p>御嵩町も言われて、そうですか、ないのですね、それでは子どもではないか。どこかにないのですか、どこまで探したのですか、といった応答をしないのか。するのが当たり前だね。</p>
渡邊町長	<p>JR 東海には途中であってもそういう所が見つかった場合は持ち出してほしいと言っています。</p> <p>可児市の黄鉄鉱の一件があるまでは、要対策土をどうするのだということがテーマになったことがなかったように思います。安全なものしか受け入れないとした時、放</p>

	<p>放射性物質しか頭になかった。重金属については認識がなかった。可児市の一件以来、県の要綱もできて厳しくなった。当時、県から「建設発生土を利用したいところは手を上げてくれ」ということで手を上げた。要対策土に対して考えることになったのは、ここ数年、新しいテーマとして考えるようになったということです。</p> <p>言葉を切り取って考えてもらおうと困るのだが、重金属などで注目される中で、岐阜県内で手を挙げたところは他にもあるが、御嵩町の要対策土を引き受けてくれるところがあるかと考えたところ、現実的ではないと判断したということです。</p>
参加者	「御嵩町から要望があった」というのは要対策土の受け入れを要望していないということか。
御嵩町役場 田中参事	そのとおりです。
参加者	<p>ここに JR 東海と御嵩町の会議録がある。平成 30 年 11 月の会議録で町長は「売ればどのように埋めてもよいが、要対策土を最終処分したいのであれば町が困っていることとセットで提案しないと難しい。」と発言している。要は取引している、亜炭鉍問題と。そうですね。</p> <p>また、平成 30 年 3 月 27 日、「要対策土の対応については、科学的、数値的な根拠が必要。町長は本気で取り組んでいる。今更頓挫するわけにはいかない。」との記録もある。町長は、「要対策土については令和元年 8 月 30 日に議会と一緒に聞いた。事前説明の打診についても断った。それまで少なくとも私は要対策土について一度も聞いていない。」と言っていた。しかし、町長は、平成 29 年 4 月からこの話を聞いている。そして、要対策土と亜炭鉍問題を引き換えにする取引を JR 東海としている。違いますか。</p>
司会	今の質問はこのフォーラムの趣旨とずれているのではないかと考えますが。
参加者	<p>私はとぼけたことを言っているか？</p> <p>裏取引しているという大事な話。この問題が解決しないと先に進めない。先に答弁してください。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>裏取引との発言がありましたが、皆様の誤解を避けるためにもお答えします。</p> <p>亜炭鉍はそもそも大きな御嵩町の課題であり、JR 東海の発生土が活用できないか模索したことは事実です。しかし、セットでという取引はしておりませんので、誤解のないようよろしくお願いします。</p>
参加者	では提案ですが、JR 東海と御嵩町の会議録を HP にアップしてほしい。明らかに裏取引をしているとしか思えない。先ほどの「セットで」という町長の発言も出てくる。
御嵩町役場 田中参事	資料につきましては、この場で質疑を行っても、何のことなのかわからない方もいらっしゃると思いますので、ご提案いただきました議事録について確認し、検討します。
参加者	では次回用意していただけますか。
御嵩町役場 田中参事	少し検討させてください。
ファシリテーター	順序もあるかと思いますが。町に質問する機会は第 6 回に設けますので、そちらをご活用いただければと思いますが、今でなければというものがありますでしょうか。
参加者	<p>資料 13 頁の仮に町外へ持ち出す場合のダンプトラック台数の根拠について、10 t トラックを想定しているとのことだが、平均速度や距離はどのように算出しているのかが重要だと思う。次回で結構なので回答いただきたい。</p> <p>また、フォーラムの費用について、5 回にわたるフォーラムで 500 万円と聞いている。有識者がボランティアというが、1 回 100 万円という費用の根拠を御嵩町から説明できればお願いしたい。</p>
JR 東海 荒井課長	1000m ³ を 10 t ダンプトラック 1 車あたり 4m ³ 積載するとして片道 250 台、往復 500 台を算出しています。速度とか距離は今回の計算では考慮していません。500 台が、ぐるぐる回る必要があるという想定をしました。

参加者	距離は重要ですよ。
JR 東海 荒井課長	延べの数ができますよ、という話です。
参加者	どのくらいの距離かを想定しないと、時間あたりの台数について疑問がある。
御嵩町役場 山田課長	予算については、議会で詳細を説明して、全員賛成にて補正予算を認めていただいたことでもありますので、ご理解いただきたいと思います。
参加者	それはわかるが、見積の要点を町民に説明してもらえませんか。
御嵩町役場 山田課長	簡単に言いますと、動画の配信もありますし、録音機材の借り上げ費や人件費をトータルしたものです。
ファシリテーター	あと 2 人で本題に移ります。
参加者	多治見市について、新聞には可児市の施設でやってもらうとあったが、御嵩町ではそのようにやっていただけなのか。
JR 東海 荒井課長	多治見市については、引き続き発生土置き場の協議については続けているが、トンネル掘削が始まったので、当面出てくるものについては外部で処理するものです。 御嵩町については、環境負荷を考えると、道路の影響を抑えた現在の計画が良いと考えていますので、今のところ持ち出しは考えていないということです。
参加者	ずっと埋めておくのは心配なので、安全じゃないものは処理してほしいと前回もお願いした。そのほうが私たちは安心。埋め立てが安心ということが納得できない。シートを使っても、100 年後も安全かは分からない。将来に不安が残るものを仕方ないとは言えない。一番安全な方法でやってほしいという願いだ。
司会	玉木先生からも資料をご用意いただいております。事前質問でも自然環境についてのご意見を多数頂きました。今の話題は次の方で止めさせていただき、自然環境の話をさせていただきたいと思います。
参加者	要対策土 1 m ³ あたりの重量の算定根拠を聞きたい。参考までの数値が過大ではないか。10 t あたり 4 m ³ ということは 1 m ³ あたり 2.5 t ということになるが、通常 1m ³ あたりの重量が 1.6 t から 2.0 t ということが言われている。それでいくと、50 万 m ³ の要対策土を仮に 1000 日で搬出すると、1 日あたり 500m ³ ということになる。500 m ³ を 1.6 t/m ³ で計算すると 80 台となり、2 倍しても 160 台。2 t/m ³ で計算すると 100 台、2 倍しても 200 台。なぜこのような大きな数字で出してくるのか疑問だ。 2 つ目に、この計画は住民にとってデメリットだ。要対策土の持ち出す環境負荷を言われながら、一方で、町民の安全な生活の価値、生態系が保たれる価値などを差し置いて、なぜ、環境負荷ばかり言われるのか。しかも、環境負荷は小さい。算定がおかしい。
JR 東海 荒井課長	過積載とかなないように考えると、余裕をもっていると言えると思うが、大きくずれるものではないと思います。 ご不安、ご懸念は今後のフォーラムで説明していきたいため、次回以降もよく聞いていただければと思います。
参加者	環境負荷ばかり拡大して言われるのはおかしいですから。住民の暮らし、ありのままの生態系を保存することも考えていただきたい。負荷を数値にするなら、知見を持ち、研鑽してほしい。 昨年の説明会で、御嵩町の希少生物保護条例、環境条例を守れるのかと JR 東海に質問したら、守れると即答した。希少生物保護条例については、今回の資料にも記載があるが、環境基本条例については JR 東海からは聞いたことがない。どう順守するのか説明していただきたい。環境基本条例第 5 条には事業者の責務が明記されている。責務の一つに「環境保全と創造に関する協定」が明記されている。事業を始められて何年も経っているが、締結されたのか？
JR 東海 荒井課長	環境基本条例の考え方については、改めて説明を行います。協定については、工事施工、もしくは置き場の管理をどうするのかという協定は、御嵩町と協議をしていかななくては行けないと認識しています。

参加者	協定は環境基本条例の「環境保全と創造に関する協定」のことだが、正しく認識しているか。環境基本条例を無視して、何年も事業を進めているのか。
ファシリテーター	条例については複雑なこともあり、条文、規定を改めて確認し、回答を用意することがよいかと思います。次回、JR 東海から資料にて配布してください、とのことです。
司会	関連でご質問とのことですが、第3回以降のテーマについてお話をさせてください。
参加者	判断というのは、JR 東海が押山に要対策土を置く判断の基礎であり、今回、車両負荷や環境負荷の比較表が JR 東海から示されるのかと思っていたが、話を聞いていると、今後どうということだ。私たちは、JR 東海の判断の基礎を聞きたいのですよ。後から出しますというのは通じませんよ。
司会	JR 東海として、なぜこの場所に決めたのか、どういう根拠なのか等、次回までに資料をご用意いただけますか。
参加者	次回ではなく、本来ならば今日用意しておくべきもの。どういう姿勢でここに来ているのか疑問だ。
参加者	司会者はなぜそんなに前に進めたがるのか。
JR 東海 加藤所長	この計画については、数値的な形で試算して示しているが、当社の考え方としては、トンネル掘削に伴う発生土については、トンネル掘削現場の近くで活用することが、運搬車両に伴う環境負荷や各種リスクを避けられるということで、望ましいと考えています。 一方で、封じ込めに対して、ご不安があるのは承知しています。このフォーラムの場、あるいは別途、我々が開催する説明の場で、そういったところをきちんとご説明をさせていただいて、ご懸念を軽減していくということが現在、我々の成すべきことだと考えています。
参加者	私たちは数値で科学的根拠をもって示していただきたいということですよ。運搬車両については、現在、ヤード工事のため最大 200 台であり、ヤード工事の分も含めるのかどうかで、試算も変わってくる。こういったことから町民に理解してもらおうのだという姿勢、気持ちが欠けているのではないかと感じる。また、町民の理解がなければ、持ち出すということは確かに聞いた。最後にきちっと質問したいと思います。
ファシリテーター	今日のテーマについて説明してもらっていいですか。
参加者	第1回フォーラムに出席した際にも話をした。令和3年7月の協議会の中で、これは、前提ありき、言葉を返せば、捨てさせる、処分させるということを前提に協議してくださいと言っている。その中で2~4haは町有地ではありませんか。町有地の賃貸借、売買については、私どもを代表している議員の方が正式に議会で決めることです。今の町とJR 東海の様子を見ると、本当に町民が心配している問題を深く考えて、町、JR 東海、議会も含めて、私たちに説明していただければいいのに、フォーラムを4回、5回やりながら、最後にはまあいいのではないかとこの考えだ。町有地は町民の財産であり権利である。すでに美佐野や平といった自治会も反対の意思を示している。そういうものをあえてフォーラムをやっていくことに対して、町長は、R3.9の答弁で、「期成同盟会において、リニアを国策として進めていくこと、工事の安全対策に万全を期すると共に、沿線自治体及び住民に発生土に関し、万全を期することを追加し（決議され）た」と言われたが、それだけではない。その次に、「沿線自治体が住民の質問に十分配慮し、適切に対処すること」となっている。町長はそこまで説明していない。議事録にもしっかり書いてある。そういうことをしっかり踏まえながら、この問題にどう対処するかということを考えなくてははいけない。他の市町村はどうなのだとこのことにつぶさに答えていただかないといけな。JR 東海の試算、21号も東西で半分に分ければ、こんなに交通量が大きくなりません。そういう細かいことまで考えなくてははいけない。本当に受入れ前提で進めるべきなのか、議会とも協議しながらベターな方法を考えていただきたい。

次第 2：第 3 回以降のテーマ選定

司会	<p>第 3 回目以降のテーマについて、簡単に説明させていただきます。御嵩町も含め皆さんもまだどういったものが出来るのかまだ知らないと思います。JR 東海の説明を聞くのがこのフォーラムの場であります。今まで皆様から頂いているご意見を基に第 3 回～第 5 回のテーマをご提案させていただきます。</p> <p>第 3 回は、「トンネル発生土の地質」です。具体的には「要対策土とは何か?」、「ウラン鉱はあるのか」、「要対策土の地質」などについて、藤井先生や笹尾先生を交えてお聞きしたいと思います。</p> <p>第 4 回は、「要対策土の封じ込め工法と盛土構造の安全性」です。具体的には「封じ込め工法の概要」、「二重遮水シートの耐久性」、「盛土の構造」、「盛土構造の安全性」などについて確認します。</p> <p>第 5 回は、「水質の管理方法・事故対応」です。具体的には「工事中における排出水の管理方法」、「工事後のモニタリング方法」、「万一事故が起きたときの対応や補償」について、確認していけたらと思います。</p> <p>こういった内容をしっかりと聞いていくことが非常に大切なのではないかと考えております。何か他に追加してもらいたいテーマなどございますか。</p>
参加者	<p>要対策土を入れるということでの中身の説明になっているが、それをやめてほしいと言っているのだが、それは出てこないのでしょうか。</p>
ファシリテーター	<p>ゼロ代替案（受け入れない）ということも含めた議論になるのでしょうか、ということですね。</p>
司会	<p>今回のフォーラムの開催の目的が、発生土の受け入れを前提として、それがどのようなものなのか話を聞かないと判断ができない、御嵩町だけでは判断が難しいので有識者にも来ていただいているということかと思えます。</p>
参加者	<p>前提というのは、町長の話でも悪かったら入れないということも含めてという風に話していたと思うのですが、入れることに決まっているような進め方になっている。前もそのようなものは入れてもらっては困るということをお話していたと思いますが、入れることを前提に 4 回の話し合いを行うのはおかしいと思うのですが。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>最初にも説明しましたが、このフォーラムは受け入れの結論のために安全だという理由を探して確認していくものではありません。フォーラムでは、JR 東海の提案してきた計画が安全かどうかを確認する、町からの求めに対して応じてもらえるのかどうかを皆様と共に、提案・確認し、その上で、安全なのかどうか、そして受け入れの結論に至るという方針を示しています。</p>
司会	<p>今のお話ですと、受け入れない場合もあるということによろしいですか。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>安全は大前提であるので、会場からも要対策土が危ない、だから受け入れないという話がありましたが、まずはそれ（要対策土）がどういったものなのか、皆様と一緒に確認していく作業が必要だと思っています。これから自然環境の話もありますが、まずは自然環境について、どのような影響が起きるのか、それをどのように JR 東海は防ごうとしているのか、また、今後については、要対策土がどのようなものなのか、どういった対策が必要なのかを確認していく中で、最終的に安全が担保できるのか、ということをお話と一緒にご一緒に考えていくことが本フォーラムの目的です。まずは JR 東海の計画を聞いてみないと進みませんので、JR 東海から詳細な説明を聞きたいということでこの場を開催しています。</p> <p>まずは、今日のテーマ、自然環境・生活環境について、本日は有識者の先生も来ていただいているので、まずは話を聞いてみるというのが必要だと思うのですが。</p>
参加者	<p>このやり方はフォーラムになっていない。フォーラムというのは皆さん自由に話して様々な意見が出てくるということ。初めからどういった内容でどういった話を聞けと決めている、これでは説明会ではないか。</p>
参加者	<p>JR 東海に提案したいのは 1 日に 1000m³掘ろうとするからいけない。道路を走れる許容のダンプ数から逆算して、そうやってやればここに土を置かなくても、瀬戸などはまだまだ受け入れられるという本も読んだことがある。瀬戸などは歓迎してくれるのでは</p>

	ないかと思うのだが。
参加者	<p>今年度、上之郷の自治会長をやっている。高山議長に伺いたい。</p> <p>先ほどの質問者から受け入れを前提にした話は聞けないという話がありましたが、上之郷の自治会としては、受け入れ反対ということを確認にやっていきたいと思っている。地元自治会、第1回、第2回のフォーラムと、たくさんのリニアに対する質問が出された。当然、議長は質問書を見ていると思うが、議会で議論はされているのか。地元住民、とくに次月地区の住民は、次月地区は過去に大きな土砂災害を受けている。国道21号線は100mm以上の大雨が降ると通行止めになる。少しでも雨が降ると非常に不安な生活を送っている。ましてや、リニアの残土置き場ができると安心・安全を脅かす重大な問題であり、次月の住民は涙ながらに訴えている。そのようなことを御嵩町議員はご存知か。議会だよりを見ているが、一部の議員は、他の議員からのフォローもない中、御嵩町全体を考えておられるが、私としては議員さんの姿が全くみえない。高山議長は、推進するという立場で立っておられるということか。上之郷地区、次月自治会は、なんとか助けてくださいという切実な願いを持っている。上之郷地区16自治会の総意として、9月末を目途に、残土に関する問題の会を立ち上げることにしている。高山議長、新庁舎の問題もあると思うが、この問題を御嵩町全体の問題として真剣に取り組んでいただきたい。</p> <p>静岡県では重金属の盛土は禁止、多治見市と中津川市では対策土を受け入れない。いち早く住民のことを考えて対策している。御嵩町は悲しいかな、一向に動こうとしない。住民の人命尊重を度外視している。議員さんで研修もよろしいが、リニア沿線で困っている自治体もあるかと思う。こういった自治体に勉強会をしていただいて、なんとか、上之郷地区、御嵩町全体を考えて我々の力になっていただくようお願いしたい。</p>
高山議長	<p>今の話は真剣に伺いました。今日も議員の大半が出てきて、話を聞いています。(参加の)目的について、推進の立場でということは一切ありません。白紙の状態、専門家の先生に知見を聞きたいということでここに来ています。他の議員も同じ気持ちであります。議員の顔がみえない、こういった勉強をしているのかと言われてしまえば大変申し訳ないという思いは議長としてありますが、当然、住民の味方になりたいという気持ちをもって議員になっておりますので、そのことは忘れないようにやっています。</p> <p>リニアの残土の問題で住民が困っているということは、当たり前のお話であって、不安があるのは当然分かっているが、フォーラムの目的の部分で、希少種の話などについても、専門的な知識がないので、話を聞きながら判断材料にしていくつもりです。議会が最終判断をするということの重みも重々分かっているつもりです。これから勉強会等も当然やっていかなくてははいけませんし、判断に向かってやっていくつもりですのでよろしく願います。</p>
参加者	勉強不足とのことですが、今日まで何を勉強されたのか。
参加者	上之郷地区では、みなさん素人だが、それなりに勉強して、なにが不安で何が人命を脅かすのか真剣に考えている。もし、勉強するということであれば、議員総出で私達の集まりに出てきていただければ、しっかり説明できるのでよろしくお願いします。
参加者	令和3年10月の町長月記の中で、受け入れを前提とした協議に入るということを議会の場でも町民にも知らしめしているのではないか。議会も勉強不足ということだが、勉強不足では足りないと思う。地域の住民が心配して質問しているのに、議会の議場では、こういった論議がなされたのかどうか。
ファシリテーター	このフォーラムが勉強する会なのではないでしょうか。
参加者	(このフォーラムが)勉強する会だから、今までの経緯をみんなが共有しなければならないのだ。だから先ほど話したように、町民の財産である町有地を売却するかどうかについて、議長は安全を確かめてから判断すると言われると思うが、自治会長や会場の皆さんが切実に言われたことを頭に置きながら、第3回フォーラムの時には、議会としてどういう対応をとるのかを中立な立場で答えを出して持ってきてくれるか。
高山議長	要対策土に対しての意見の結論を次の回までに持ってくるということですか。

参加者	議会でどうするのかということをしっかり論議して、町有地の問題も庁舎の問題もわかり、公平に考えながら、議会では売却が良いのか、賃貸借が良いのかなど、何かしら示唆をしていただきたい。
高山議長	結論が出るか出ないかは別として、これから議論して中間報告なり示唆をしていきたいと思います。

次第 3：自然環境の保全、生活環境への影響について

司会	自然環境について、玉木先生のお話を聞きたいという方もお見えになるのではないのでしょうか。先に玉木先生の話をお願いします。
	(場内拍手)
司会	本当は JR 東海の説明を聞いてからの予定でしたが、先に玉木先生の里山林の保全についてのお話をお聞きできたらと思います。皆さんよろしいですか。
	(場内同意)
玉木先生	(資料に基づき説明)
司会	玉木先生ありがとうございました。玉木先生からは、本日の JR 東海の資料を見て、質問したいことがあると事前にお伺いしています。まず玉木先生の説明にご質問がある方はお見えでしょうか。
参加者	玉木先生、ありがとうございました。私も同じ専攻なので、よくわかりました。地元の方に関係する面もあるが、先ほど議論が続いた埋め立て地のこととは違う 16ha の民有地の話だと思う。地元の方（土地所有者の方）は、先ほど先生がお話なさった環境保全の対応は心がけているのか。
JR 東海 荒井課長	現在は民有地ですが、JR 東海が取得したいと考えています。現在、交渉中でありま
参加者	そうすると、JR 東海が玉木先生のお話しなさったような対応を考えているということでしょうか。
JR 東海 荒井課長	どのように保全していこうという基本的な考えがありましたが、玉木先生の意見を伺って、何か出来ることはないかというのはぜひご相談させていただきたいと考えています。
参加者	玉木先生のお話で、候補地 A にも B にもハナノキがいたと思う。特に候補地 B については、先日、案内していただいた際に、樹齢 200 から 300 年の木が何本か確認が出来た。これは移植したらまずつかない（定着しない）よね。それに、候補地 A・B は、環境省が「美佐野ハナノキ湿地群」として重要湿地帯に指定した地域である。ここをトンネル残土で埋めていいのか。次月集落の 3 倍以上もあるこの場所をトンネル残土で埋めてしまえばいいのか。私はやってはならないと思う。その辺を考えていただいて、岐阜県のトンネル残土の受け入れ候補地が約 61 か所、2,300 万㎡と聞いている。岐阜県のトンネル残土は 930 万㎡と聞くから、十分すぎる受け入れ候補地があると思う。それだけあるのだったら、何も重要湿地帯に埋めることはないと思うのだが、先生はどのようにお考えか。 もう一つ、先日、知人から聞いたが、ミゾコイの営巣が見つかったとのことである。あの辺り一帯には、鳥類はサシバだけでなく、絶滅危惧種が 18 種類いる。私の調べたところでは、付近に絶滅危惧種が 29 種類もいる。こういう重要な地域に絶対トンネル残土を置かないでほしい。御嵩町にも強く言いたい。要望を出したいと思うので先生のご意見をお聞かせください。
玉木先生	ミゾコイの件は、申し訳ないですが鳥類は専門外ですのでコメントできません。 ハナノキの件は、私も現地を確認しました。樹齢、200 年～300 年ということはないと思うが、立派な木はたくさんありました。埋めてしまうのは非常にもったいないことだと思います。 もう一つ、重ねて言いたいのは、仮に埋めなかったとしてもあのまま放っておいたら、大きな木しかなくなってしまうということ。だから、地元の方を中心に、木を切り、明るくして、ハナノキが自然に更新できるような場所にしてもらいたいと思って

	います。
参加者	今の説明を聞いて、十分森林のことは分かったが、木屋洞川や押山川が可児川に接するまでの距離、水量、環境状況、これらについての説明はどの時点でされるのか。
JR 東海 荒井課長	木屋洞川も押山川も、そのほか周辺井戸も含め、流量調査や水質調査は行っております。該当するテーマの時に説明します。
参加者	どういう段階で説明してもらえるのかということ。例えば環境のことであれば、河川の流量などをしっかり調べながら、造成によって流量がどのように変化するのかというデータを示してもらえるとと思っていたのだが、いつ頃、どういうふうに説明してもらえるのか。
JR 東海 荒井課長	造成の影響ですので、盛土の安全性の回で説明させていただきたいと思います。
司会	先ほどお話ししましたが、玉木先生から JR 東海へ質問したいということを知っています。そのためにも、JR 東海の説明を行っていただければよろしいでしょうか。
	(場内同意)
JR 東海 荒井課長	(資料に基づき説明)
司会	ありがとうございました。先ほども申し上げましたように、玉木先生から JR 東海に質問とかご提案とかされたいということをお聞きしておりますので、まずは玉木先生からお話いただいてもよろしいでしょうか。
玉木先生	資料の 32 ページで、調査改変範囲内にいた重要な種が出ていますが、8 月に JR 東海に現地を案内していただいたときに、アセスで改変範囲にいないことになっていた「ウスギヨウラク」、「カキノハグサ」が改変範囲にいるを見つけました。アセスというのは最初から探す目で見ておらず、広く見ることを目的としてやっていますので、見落としがあることは事実だと思いますので、改めてもう 1 回調査したほうが良いのではないかと感じました。 資料の 34 ページで、ハナノキだけを（保全の）対象種にしているが、ここに挙がってきているのは重要な種であり、「ヒメコヌカグサ」はあまり詳しくないが、少なくとも「シデコブシ」は一緒に保全の対象にしても良いと思います。あとは、「カキノハグサ」はどのような生態なのかあまり分かりませんが、いたことは事実なので、移植を試みても良いのではないかと思います。
JR 東海 荒井課長	これまで環境アセスの手続きをしてきた中で、精通した業者に委託して調査してきましたが、事実として、発見出来ていなかった希少種があったので、それらについては、もう一度調査を行い、影響検討書なり保全計画書なりの結果には反映していきたいと思っています。 それと、植物のハナノキ以外のシデコブシ、ヒメコヌカグサについてもご意見いただきましたので、何か保全措置できないか検討してまいります。シデコブシもコブシと交雑したものがあるということですので、詳しい玉木先生のご助言をいただきながら一緒にお話を聞かせていただきたいと思います。
千頭先生	玉木先生に伺いたいのは、ハナノキやシデコブシは園芸種としても売られているが、生えている現場に野生種としていることに価値がある、要するにその木が日本中にないわけではなく、その現場に生えていることに価値があるというふうに私は思うのですが、種としては確かにハナノキだが、他に持っていったことによって、現場で生えている野生種でなくなるということについて、どう評価したらいいかを伺います。 それに関わるが、JR 東海にお聞きしたいのは、私も最低限シデコブシは環境保全措置に入れるべきだと思うのですが、移植と言われるが、どこに移植するのでしょうか。要するに、これらの種は比較的水分の多い低湿地にいるが、数十メートル上の埋め立てた土に木を植えてもほとんど意味がないのではないかと思います。どこに移植を計画されているのかをお聞きしたい。
玉木先生	現地にあるのが大事だというのは自分もその通りだと思います。移植は最終手段

	<p>で、自分としては、やはり現地でその個体を保全し残していければと思います。そもそも、その個体を残したところで、更新が起きていないことが一番問題だと思っています。それは、御嵩町や住民も一緒になって環境を変えていくというところで保全に取り組んでいただきたいと思いますところでは。</p> <p>もし仮に移植するとして、どこに植えるかについて、千頭先生が言われた、水の少ないところに植わるのかという話について、例えば、シデコブシもハナノキも街路樹になっている。ある程度育ったものを人が育苗したものを埋め戻すことは可能だと思います。しかし、それは最終手段なので、自分としてはやはり現地にその個体は残して、さらに、環境を変えることで更新をさせてほしいと強く思っています。</p>
JR 東海 荒井課長	<p>シデコブシ等の移植先について、基本は近傍に似たような環境があるところを探して植えていきます。しかし、決して、今、真っ暗な湿地に生えているからと言って、玉木先生から話があったように、真っ暗なところに植えても育たないという話があったので、基本は専門家に意見を聞きながら移植先を探します。そこが町有地であれば町になど、土地の持ち主に相談させていただきたいし、JR 東海が取得した土地に適地があれば植えたいと思います。</p>
千頭先生	<p>私個人としては、例えば、ハナノキは確かに街路樹でもあるわけで、移植をして新しく植え、それが埋め立て地にあたかも街路樹のように植えることには私はほとんど意味が無いというふうに思っていて、本当に移植しなければいけないのであればそのハナノキやシデコブシとして存在することに意味があるような場所に植えないといけない。木だけを植えました、しかしそれは街路樹ができたのと同じことであり、そこにはすごく留意してほしいと思います。</p>
司会	<p>だいぶ時間が過ぎてしまって、先生方と約束をしている時間をすでに 40 分くらい過ぎてしまっており、大変申し訳ないのですが、もう少しだけ先生方にご無理を言って延長をさせていただいて、今の JR 東海の説明についてのご質問だけお受けさせていただきたいと思っておりますけれど、よろしいですか。</p>
参加者	<p>JR 東海の資料 20 ページだが、要対策土の流れというところで、今回、初めて一時保管ということが出てきた。</p> <p>まず、御嵩町にお伺いするが、ずっと要対策土のことが問題になっていて、これを受け入れるのか、外へ持ち出すのか、という話の流れなのだが、置き場 A の民地に一時保管ということが初めて出てきた。これは、御嵩町はずっと前から知っていたのか。今回、初めて JR 東海の説明の中で聞いたのか、そこをまずお伺いしたい。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>御嵩町の方へは令和 4 年 7 月に JR 東海が美佐野と次月の自治会との意見交換会に向けてこういった話をしたいということで、そういった事務打ち合わせの場で初めて聞きました。</p> <p>私どもとしては、そういう状況ですので、自治会の説明会に参加して職員が初めて具体的な計画を聞いたということです。</p>
参加者	<p>こんな大事なことを JR 東海はこれまで言わなかったということか。JR 東海はどういう見解なのか。</p>
JR 東海 荒井課長	<p>ようやく、置き場 A や置き場 B の設計や施工の検討をしてきた中で、置き場 A に一時保管が必要だと分かってきたので、分かった時点で美佐野と次月の地元の方にまず説明をさせていただいて、御嵩町にもそのときに一緒に聞いていただいたので、同時に聞いていただいたという流れです。</p>
参加者	<p>こんな大事なことを御嵩町は知らずにきたと、そういう会社じゃないのか JR 東海は。そういうところを信頼して御嵩町は交渉してみえると思うのだが、これ非常に重大なことではないか。このような大事なことを 7 月まで知らなかったということは、これからもっとこういうことが出てくるのではないかと私たち住民としてはそういう不安を覚える。</p>

司会	ありがとうございます。JR 東海としては一時保管を行いそうだという設計が出来たのが 7 月前後なのか、それとも説明できる段階に至ったのが 7 月ぐらいということなのでしょう。
JR 東海 荒井課長	実際、工事ヤードを施工している戸田・守谷 JV と契約をして、その後ヤードやトンネルの計画を立てて、次は置き場の計画を一緒に決めているところです。その流れで、置き場 B に（要対策土を）一気に持っていくというのはなかなか難しいだろうと、一時保管が必要だということが分かってきたのが最近ですので、7 月かという、それより前に分かっていたが、そんなに大昔から分かっていたことではないということです。
司会	ありがとうございます。具体的な日付で、大昔ではないけど、積極的に隠す意図はなかったと聞こえますが、みなさんいかがですか。
参加者	以前は、施工工事ヤードに仮置きして分別して運び出すというふうに説明を受けた。
JR 東海 荒井課長	分別するのは施工工事ヤードで変わらないです。要対策土と分かった土をすぐに全部置き場 B に持って行ければ良いのですが、シート（遮水シートのこと）を敷きながらの工事になりますので、シートを敷き終えておらず、一気に持っていきができない場合に、一時保管してから置き場 B に持っていきよう計画したいということです。
参加者	施工工事ヤードに置ける範囲を掘ればいいでしょ。
JR 東海 荒井課長	ここ（施工ヤード内）に、3 日分の土を置くスペースがあるのですが、それ以上に切り広げる場所がないので、置く場所がないということです。
参加者	この先もそういう話がどんどん出るわけか。場所がないから、予定と違うからと言う話はどんどん出るわけなのか。
JR 東海 荒井課長	出ないようにしますが、出ないと言い切って良いものかどうかというの。出ないです、出たらすみません。
参加者	昨年の 11 月に上之郷地区でやられた町長との討論会の時に、来年の春までには具体的な説明が出来ますとおっしゃってみえたよね。やっと今、具体的な説明かという、これまだ具体的な説明じゃないよね、どんどん約束が違うじゃないか。
JR 東海 荒井課長	時間がかかっているのは確かですので、時間をかけて丁寧に検討しているというふうに思っただけでないでしょうか。
参加者	この先もどんどん約束が違ってくる可能性があるわけなのか。
JR 東海 荒井課長	違わないように努力します。
参加者	JR 東海に伺いたい。JR 東海は鉄道建設のプロであり、そして工事を引き受けているのは、ゼネコン大手。その人達が、地中深くのトンネルを掘る時に出る土が健全土であるなんて思っていないはず。これは 2013 年の海老坂トンネルの掘削発生土、ここには要対策土が出てきている。色々なところで新幹線工事をやってらっしゃった JR 東海は当然、知っておくべきことだったと思う。いつ御嵩町に要対策土を入れますと伝えられたのか。そして、これが町長の発言と 1 年余り食い違っているところである。 続けて質問したい。5 月 25 日の JR 東海の資料、「要対策土の安全な管理」、「盛土造成中の管理」、「完了後の水の管理」、この 3 つの断面図を比べると、「造成中の管理」の断面図には、排水層に青い暗渠配管がある。ところが、「造成後」の断面図をみるとシート外に暗渠があります。その上の排水層には暗渠がありません。これはどういうことか。そして、この図を見ると、暗渠がなくなっており、暗渠は穴が空いているので、細かい砂が落ちていくので、暗渠に細かい砂が溜まって、地中が揺れて変形していけば、暗渠も変形する。その暗渠に細かい砂が溜

	まっっていく。
司会	ありがとうございます。すごく気になるのはとてもよく分かります。私も気になりますが、その話は、今、JR 東海にお答えいただくよりも、第 4 回に封じ込め工法の話があり、暗渠の話がありますので、その際にご質問していただければと思うのですが。最初のところだけ回答いただければ良いかと思いますが・・・。
参加者	<p>ダメだ。この暗渠が詰まった場合、封じ込めのところに水が噴き出してきて、脆弱なところから高濃度の汚水が出るはず。そういうところに御嵩町のレッドデータブック、町長が公費を使って調べさせた 2013 年のレッドデータブック。ここに今言われているハナノキとかいっぱいあるが、これがあの現場にある。JR 東海はこのことはご存知か。</p> <p>そして、町長は自分が発言した 2013 年の挨拶のところに、これ以上の乱獲開発、要するに自然破壊はしないと明言している。そして、このレッドデータブックはどこからお金が出ているかという、ふるさとみたく応援基金を活用して製作している。これは公費であり、公費を使って調査員のお金も払い、資料を作り、そして明言もしている。そして、御嵩町には環境基本条例があり、それから希少種条例がある。そこにもきちんと、町の責任、町長の責任が書いてある。そして、事業者にも責任がある。（議長の）高山さんは希少種の条例とかは分からないと、えっと思うようなことを言われたが、これは公約違反だと思っている。心ある人達が御嵩町の自然を守ってくれと、そのために使ってくれといったお金でこれを作っている。そうしてあの場所は、今はまだ無事かどうか分からないが存在している。</p> <p>それを心において、町長は公約違反をしないように、JR 東海は自然にもう少し心を寄せていただきたいし、工法がどうなっているのか、水と有害物質が混ざって閉じ込められ、脆弱なところが崩れてそこから有毒ガスが発生するのではないかと、そのような懸念もしている。</p>
ファシリテーター	今のご意見、その該当回でお答えすることによってよろしいでしょうか。
	(質問者、了承)
渡邊町長	今、公約違反みたいな話が出たのですけれど、一部だけ切り取られて言われると、そういう言葉を使っていますけど私は町長就任以来、こう言い続けています。御嵩町では可児川から南側についてはかなり開発をしている。しかし、可児川から北側については、これからはあまり大きな開発をしたくないと、そういう主旨で公約として言っています。つまり、工業団地もありますし、団地もあります。いろんな所にゴルフ場も出来ています。可児川から南側ばかりです。開発するとしたら南側でしか大きな開発はしない、自分の代でそれが起きるかどうかわからないけれど、北側は守っていきたい、そういうことを言って、皆さんにお話をしたというふうに思っています。
参加者	今日たくさん資料をいただいた。この資料 8 月 1 日から企画課の窓口ではいただけたと思うが、こういった資料をぜひ各地の公民館でももらえるようにして、事前に皆さんが手にして見られるようにすると、今日いきなりこれだけの資料に目を通すのは大変なので、事前に配布の体制をとっていただけないものかをお願いしたい。
司会	ありがとうございます。今はホームページと役場の窓口だけの配布ですか。
御嵩町役場 田中参事	今おっしゃられた意見は、大変参考になります。現在、公民館には事前質問という形でお配りしていますが、公民館でも資料の配布はぜひやらせていただきたいと思えます。
司会	さすがに 5 時なので、最後の 1 人だけでよろしいでしょうか。

参加者	<p>話し合いの約束で、他人を傷つける発言をしないということだが、JR 東海荒井氏の発言に私はずいぶん傷ついている。JR 東海からの第 1 回フォーラムでの回答の 5 番目に「住民の皆様の理解が得られなかった場合には要対策土は町外に持ち出すという発言について全くこれに触れていない」ということなのですが、持ち出し発言については言ったのか言わないのかという問題になると、これは JR 東海の信頼性ということにつながるというふうに考えている。</p> <p>持ち出し発言の当日の状況を説明すると、3 回（説明会を）やったわけだが、次月の説明会を終えた段階で、ある人が家に来られて JR 東海が持ち出しますと言ったということを知ったので、これは重要なことだと思い、美佐野の説明会でも質問するということで打合せをした。私は意図を持って質問し、次月と同様の回答がくるということで期待しておりましたら躊躇なく、持ち出しますということを説明されたわけであった。その説明に対して、JR 東海梅村部長も荒井課長も全く補足説明がありませんでしたので、こういうふうに JR 東海っていうのは考えているということで私どもは受け取ったわけである。</p> <p>そして、第 1 回フォーラムとの関係であります、持ち出すことについての質問というのは 2 種類あったと思う。1 つは、次月と美佐野（の説明会）での、住民の理解が得られなかったらどうするのかというケースと、もう 1 つは、豊精密（の説明会）での、町がダメだったらどうするのかという内容だったと思う。JR 東海の回答は、「町がダメだった場合」についての回答だと思うが、私から言わせると、当然、町がダメならダメなのだからそれ以上は進めないから、あまり意味はないと思う。</p> <p>回答の中に候補地 B が使えないということが書いてあるが、使えないということはどういうケースなのか。JR 東海荒井課長にお聞きしたい。</p>
JR 東海 荒井課長	<p>我々も、議事録を確認したのですが、その発言は確認できなくて、我々の真意としましては、先ほど申し上げましたように、今後も要対策土の安全な管理方法とかをご説明してご理解いただきたいというのが基本の考えです。皆様、住民の方が理解を示さなかった場合に持ち出すのだという発言とご理解されてしまうような説明をしてしまったのは大変申し訳ないと思うのですが、我々としては今後もこのフォーラム等で丁寧に説明していきたいということをご理解いただきたいと思いません。申し訳ございませんでした。</p>
参加者	<p>回答に書いてないのだが、質問はあったということなのか、なかったということなのか。</p>
JR 東海 荒井課長	<p>確認ができなかったものですから、先ほど申し上げた、候補地 B が使えないということになれば、というところは確認できたのですが、住民の理解が得られなければというところを確認できなかったの、言ったかどうかは、はっきりとは分かりませんでした。我々の真意としては、同じことだと思っていますので、そこはご理解いただきたいと思いません。</p>
参加者	<p>皆さん方、プロで説明会に来ているのだから。例えば、要対策土の処理方法についての説明会に来ていて、要対策土の質問については、次月と美佐野で同じ質問だった。それを私 1 人じゃなく美佐野や次月の説明会で参加された方は皆さん聞いている。私たちは、JR 東海は都合が悪くなったら、言った記憶はないと逃げたてしまう会社じゃないかと思ってしまう。そんな大事なことを部長も課長も担当の方がおみえになっていたのに、3 人ともそこにみえたし、フォーラムにも来ている。その辺について、知らなかったとか覚えていないとか言われると、私どもは説明会に来て、なんのための説明会だったかと思ってしまう。そういうふうでは困る。言った、言わないであれば、言ったのだよ、（聞いたのは）私 1 人ではない。</p> <p>（場内から「言った」との声）</p> <p>この回答を見ると、質問も答えもなかったことにされている。だから、</p>

	<p>JR 東海の評価としては、信頼に値する企業かなあ。町長が受け入れを前提として協議する、こういうような勝手な解釈で変えてしまうような企業と協議する価値があるのか、というところについてしまうのだ。だから、そこはやっぱり真摯に対応していただきたいというふうに思うがいかがか。</p>
JR 東海 加藤所長	<p>荒井が申し上げた通り、誠に申し訳ございませんとしか申し上げられないというのが事実です。みなさんがそう言ったというふうにおっしゃるので、そうなのかもしれないませんが、我々が持っている資料を確認しても、そのようなことが確認できなかったの、このような回答をさせていただいています。先ほど荒井が申し上げたとおり、皆様方が仰っていることを違うとかそういうことを申し上げているのではなく、そのときにそういうふうにご説明をしてしまったかもしれません。</p> <p>ただ、我々の真意は先ほどから申し上げているとおり、引き続き、計画について皆様にご説明をして、盛土構造の安全性、あるいは封じ込め等の安全性、計画について、しっかりご説明をさせていただいて、不安やご懸念を少しでも軽減したいというところが真意でございます。「使えないということになれば、（外に出すという選択も出てくるが現時点では考えていない）」というようなことを言ったということを書いておりますけれども、我々はこれからもフォーラムなどの場を通じて、我々の計画について皆様方にしっかり説明させていただきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願いたします。</p>
司会	<p>ありがとうございます。たくさん手が挙がっていて大変申し訳ないのですが、すでに予定の時間を 1 時間以上過ぎてしまっております。先生方にお約束させていただいている時間もだいぶ過ぎてしまっておりますので、この辺りで第 2 回フォーラムの方は終了させていただきたいと思っております。</p>
参加者	<p>フォーラムのやり方を考え直したほうがいい。質問なんてできない。例えば、色々な問題がある。JR 東海への不信感、町長の説明、自然保護の件、予算のことなど。いくつかのグループに分けて、自分の聞きたいグループに行って質問できるようにしたほうが良い。</p>
司会	<p>ありがとうございます。いくつかのことをそれぞれ聞きたい方がいらっしゃると思うので、各回で毎回それぞれのテーマで話をすることにしています。</p>
参加者	<p>そのやり方は絶対まずいと思う。初めからテーマを決めているでしょ、もう結論が決まっているということ。もうプログラムが決まっている。このやり方はフォーラムのやり方じゃないよ。</p>
司会	<p>ちなみに結論が決まっているということはないということによろしいですね。</p>
御嵩町	<p>(同意)</p>
参加者	<p>先ほどの言ったのか、言わなかったのかの件について、再発防止のため一つ提案したいのでぜひ了解いただきたい。</p> <p>これから色々な細かい打合せをするということで、町・JR 東海・町民の間の情報の共有が必要だというふうに思う。</p> <p>これまで町議会に説明した 4 回の説明会の資料と今後説明をされる資料をぜひ公開していただきたい。例えば、町長、議長に説明した JR 東海の要対策土の処理基本方針について、JR 東海梅村部長は 7 月の説明会の冒頭挨拶で、昨年 11 月の町長と議員に説明した内容も説明すると言いつつ、資料も出さないし、説明はなかった。今後、安全対策の重要課題に移るので、ぜひ、情報共有するというところで理解を深めるということで公開していただきたいと思う。これについては、町長は資料を議会に渡す事自体も公開しているのだと、そういう認識でいるし、町長は JR 東海に確認したいと述べられているので、確認を受けた結果もお聞かせ願いたいわけだが、これは了解をしていただきたいというふうに思う。</p> <p>それから、説明会にマスコミを入れるべきではないかというようなご意見が豊精密（説明会）でも 3 人の方からあった。やっぱり町民にとって重要な説明会であ</p>

	<p>ることから、マスコミにも入っていただいて、この様子を報道していただくのが、事業の周知と理解を深めるということになるろうかと思うので、ぜひ、中に入って報道していただきたいというふうに思う。こんなこと言ってはなんだが、これができないと報道機関を入れないということになると、実はこれもあまり言いたくなかったのだが、JR 東海荒井課長が 4 月 24 日の美佐野の自治会説明会でこのように発言をされた。個人的にということで注釈をつけておられるが、「自然由来からの水は飲んでも大丈夫、遮水シートは必要ない」というような暴言ともとれる言葉を述べておられたが、仮にマスコミが入っておればそんなことは言えないし、我々としても緊張感を持ってデータと科学的にこれからいろいろやろうということになるので、ぜひマスコミの方にも来ていただいて、そして、正しい報道を町民に伝えていただくと、これは大変良い事だろうというふうに思う。</p> <p>豊精密の際に、JR 東海の梅村部長が報道を入れることについて、「自由に発言できる雰囲気のため（報道機関を入れない方が）良いと思っている」と言われている。マスコミが入ると思ったことがしゃべれないという方はいないので、ぜひマスコミを入れていただきたい。</p> <p>資料の公開と合わせ、2点ぜひお願いしたいと思う。</p>
司会	<p>ありがとうございます。</p> <p>このフォーラムの内容については、資料とか録画で完全公開させていただいているのですが、同様に他の説明会についてもそのような資料公開をしてほしいというようなご意見でよろしいでしょうか。</p> <p>ちなみに、その他の説明会の主催者は自治会さんなのですかね、JR 東海なのですかね、それとも御嵩町なのですかね。その主催者の方が OK と言わなければ今の話は難しく、どなたが主催者なのだろうと思ひまして。こちら、ちょっと聞いてもよろしいですか。その自治会向けの説明会というのは誰が OK と言えば公開にできるのでしょうか。資料とかも。</p>
参加者	<p>議会に書類を渡すと、もうその時点で町長の認識としては公開したのだということで、私は町長、議会へ説明資料を出されたら、後日公開していただきたいことで情報の共有ができるのではないかと思います。</p>
司会	<p>ありがとうございます。町から町議会へ対して情報提供した後に公開するようということでもよろしいですか。</p>
参加者	<p>町や議会に JR 東海から来たもののこと。それも含めて、資料をすべて公開してほしいということ。</p>
司会	<p>ありがとうございます。公開については、誰がそれを OK と言えるかというところがあると思います。</p>
参加者	<p>町長は情報公開条例第 3 条について、私がお願いして入れた項目だということで、情報の公開については非常に理解がある。だから町長は、JR 東海の資料については JR 東海がどう思うか聞いてみるということだった。</p>
御嵩町役場 田中参事	<p>基本的に、これからの協議についてはこのフォーラムを通じてやりたいと思っているので、全て公開のほうで考えております。また、それ以外に今おっしゃられた JR 東海から御嵩町に説明があったものにつきましては、町の方は何も隠すものではないので、ご提案のとおり、皆様と共有しながら協議は深めていきたいというふうに考えております。そこについて何か隠したいとかそういう意図は一切ございませんので、そのように進めたいと思います。</p>
参加者	<p>今までの JR 東海の説明会は基本的にマスコミ NG だった。</p>
司会	<p>JR 東海主催の説明会にマスコミが入らないのはどうなのかということですね。</p>

JR 東海 加藤所長	JR 東海の説明会はいろんな人が緊張しないでお話いただくようにということでマスコミはお断りしていました。ただ、本日お話があり、我々の前のご説明のやりとりの中で、非常に申し訳ないものがあつたのも、我々も十分認識しております、先ほどから申し訳なかったと言っているところでございますが、それが原因となつてそういったご要望を改めて強い気持ちでおっしゃっているということもよく分かりましたので、本日この場で結論は申し上げられませんが、検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
司会	何を検討するのかはつきりおっしゃっていただひてよろしいですか。
JR 東海 加藤所長	固いことを言つて申し訳ないのですけれども、中央新幹線の事業では、各地区でいろんな場面、いろんなところでご説明をする場面を作つています。もちろんこういった場もそうですし、もう少し規模の小さい、地区の方についての説明会等ございます。工事説明会とかですね、事前にその地域の方との説明会、我々のこの工事の計画はこういうふうです、こんなふうに進めていきますというご説明をすることもありますし、地域の役員の方と個別にちょっと事前にご相談という場面とか、いろんなパターンがあります。今おっしゃっているのは工事説明会のことですよ。
参加者	私はこういう場については JR 東海もプロとして、正々堂々とやっぱり考え方を述べるのが大事だし、マスコミを味方にして上手に使うという、これ御嵩町も同じことなのだが、マスコミを上手に使つて PR しましょうという主旨である。
JR 東海 加藤所長	そういったお話も理解できますが、先ほど申し上げたこういう説明会は地域の皆さんにしっかりお言葉を上げていただひたいというために、マスコミはお断りしているという形でやっています。ただ、そういうご要望がありますので、少し考えさせていただきたいと思ひます。今この場で私が、やります、とちょっとなかなか組織的に決められない部分がありまして。
参加者	今回の持ち出すのか、持ち出さないのかという件についても、マスコミが入つていれば、すぐ分かることになる、暴言があつても。そんなことを言えばマスコミは指摘しますよ。なぜ加藤さんの判断でできないのか。
JR 東海 加藤所長	我々も責任を持つてやつていかななくてはいけないので、過去の担当者も含めてやつてきたはずですが、今回、非常に気にされているような事案があつたということは承知しています。
参加者	御嵩町でなぜこういう問題が起きたかということになると、御嵩町のような公共の広い土地で処分されるのは、岐阜県でここしかないのではないかと。だから、町民としてはよりよく皆さんの意見を聞きながら町の意見を聞きながらフォーラムをやろうと思つてやつているわけですよ。だから、一会場で行うのではなくて、伏見と中、御嵩と上之郷というように地区で分けて開催するべき。町は努力しなきゃならないのはもうちょっと自治会長を動かしながら、なんで集まっているのか知らない人がいる。広報では言っているけど、来ているのは 100 人を切つている。そんな状況の中で、町ももう少し、議会ももう少し町民に聞きに行つてくれと後押しして前へ進めるようなことを考えなきゃだめじゃないのか。その中でイエスカノーが出てくる、そういう結論を出すところじゃないのか。町が前提ありきでここまで来ているのだから、町長はじめ御嵩町にも不信感がある。そういうことを町民はよく知つているから、もう少し大きくやられたほうが良い。JR 東海が協議しますというなら、協議してからまた新たに日程決めれば良いではないかと。静岡を見てみなさい。リニアの仲間に入ったが、まだやり残したことがあると言つているのではないかと。そういうことを考えながら、参加者から出た意見を重視しなくてはいけない。根本的に見直さなくてはいけない。

司会	ありがとうございます。本日は 5 時半になろうかというところで、もうこれに最後にさせていただきたいと思います。非常に私の進行が悪くて 1 時間半も超過し申し訳ありません。
ファシリテーター	まだ皆さん言いたいことがあるみたいで、どうでしょうかね。 最初から最後まで通じて、話し合いの前提が、やること前提だという所に皆さんとても不審に思われていますよね。これから勉強したらいいし、話し合いをするならば良いのですが、その結果、安全じゃなかったらやめるということがありなのだという、その確認は御嵩町から改めてお願いいたします。
参加者	資料にもあるように、「現時点で町が受け入れを決めたわけではない」とのことなので出席したのだけれど。
御嵩町役場 田中参事	最初から説明しているとおおり、町の方針としては、JR 東海の計画が安全かどうかを確認する作業をしていき、その上で結論を出す。結論が最初に来ているわけではございませんのでご理解いただきたいと思います。
参加者	であれば町長が前に言っていた「前進ありき」ではなく、JR 東海の話をしっかり聞いて皆で考えようと言ってくださいよ。議会や町民に出した文書もありきで話しているではないか。
渡邊町長	2 年間ですか、非常に時間がかかりましたけれど、最初は受け入れできないなと思いました。JR 東海という会社の体質だとは思いますが、突然具体的に話が出てきて、私は怒った。それが現実です。 (場内から「嘘つき」の声) 記憶しているのは要対策士が出るっていうことを「ありき」で話し合いに入ろうとしたから怒りました。過去のことは、また記録を調べて説明できるようにしますが、少なくとも受け入れを前提にという言葉をおざわざつけたのは、広く議論してほしい、ただ心配だとか、安全性が云々とかっていうあまり具体的でない情緒的な話で、受け入れを拒否している場合でもないなということをおっしゃっていました。受け入れを前提と言ったから、こういう会を開けるようになった。私が受け入れは難しいと言っている間、誰 1 人として「頑張ってくれ」とか、そういうことをおっしゃってくれた方はありませんでした。受け入れを前提として、という言葉を使って初めてノーという人たちが声を上げるようになった。しかし、JR 東海のリニア中央新幹線は反対なのですねって聞くと、反対しているわけじゃないということをおっしゃる。非常に難しい話です。そういう意味で、私自身は態度を変えた根拠というものはちゃんと説明した、そういうつもりです。 (場内から「されていない」の声) 先ほどから聞いていますと、誰かが質問したことに対して JR 東海や先生方がお答えになったことを、また同じことを聞いてみえるっていう人がたくさんいるので、人の話をもう少し聞いてもらわないと、非常に虚しいなあと思って私は黙って聞いていました。そういう意味で、受け入れを前提にという言葉は、受け入れを前提として、何が心配なのだ、具体的にどうだということ専門家の先生方に来ていただいている。専門家の先生方も JR 東海に質問をしているのではないですか。
参加者	町民はそうではない。町長が受け入れを前提として協議に入ると言われた。前の質問者も言われたが、こんなのはフォーラムではない。(受け入れ)ありきで乗せられたようなやり方では町も不利になる。それぐらいの読みがないとだめだ。
渡邊町長	説教はいいですよ。じっくりとしっかりと考えて、具体的に、不安であるなら心配であるならそれを科学的に説明できるような、私が考えを変えた理由っていうのもそういうところにあるわけですから、皆さんにも不安なところ心配なところ、もっと具体的に聞いてください、ということ。それでもダメであったらノーということもあるでしょう。それは私も納得しないとノーとは言えない。 人数が少ないっておっしゃるのですが、私の知り合いやお付き合いのある方

	<p>で、こういうのをやるのだと伝えると、そんなもの御嵩の口（坑口）から出てくるものは仕方がないじゃないか、と。誰でも賛成とは言いません、仕方がない、それだけです。私も強烈に賛成なんてしているわけではない。そういう立場でものを言っているということは理解していただきたいと思います。</p> <p>もう終わらしましょう。1時間半もオーバーなんて進行上だめですよ。</p>
ファシリテーター	<p>皆さんのお気持ちとかご不安よく分かりましたので、一度ちょっと持ち帰らせてください。申し訳ないです。</p>
参加者	<p>町長から時間が来たからやめようなんて言うてはだめだ。</p>

閉会

司会	<p>私の進行が悪く、時間を大幅に超過し申し訳ありませんでした。</p> <p>運営については、千頭先生にもご協力をいただきながら進めているところです。次回以降の進行についても、千頭先生にもご相談させていただきながら進めてまいりたいと思います。</p> <p>以上をもちまして第2回フォーラムを終了とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>
----	---